

## 地塲住建株実験圃場への竹炭配合

1. 日時 平成25年8月29日(木) 16:00~18:00
2. 場所 地塲住建株本社ビル屋上
3. 作業者 「竹もりの里」鹿嶋理事長、K-BETS 篠崎 C、吉田時行社長
4. 作業内容
  - (1) 計画説明と分担取り決め
    - ①計画内容は了承
    - ②散水は毎夕実施：吉田社長が実施（今までの「初芝くん」や庭木にも実施している）
    - ③会社が休みの際には近くの篠崎が実施（毎水曜日、第1・3火曜日）
  - (2) 除草：カバーされていない周辺に雑草が大きく育っていたので引き抜いた。
  - (3) 黒色ビニールカバー除去（雑草が生えないようにするカバー）：今後は不要
  - (4) 3区画へ竹炭配合：①対照区（配合せず）、②③④竹炭配合レベル3水準
  - (5) カバー：化繊織物カバーで乾燥防止・雑草防止
  - (6) 散水：カバーの上から如雨露で散水（水をはじいてなかなかしみこまなかった）
5. 写真



写真1 「初芝くん」盆休みに一部夏枯れ



写真2 庭園のカバーのはずれには雑草が育つ



写真3 ここにも大きい雑草が繁茂



写真4 比較用に「野菜栽培セット」を置く



## 地獎住建株実験圃場への竹炭配合



写真5 「種から育てる栽培セット」説明図



写真6 3種類の野菜が可能



写真7 セットの組み立て方の説明



写真8 梱包時の蓋は最終的には受け皿に



写真9 箱の中にソイル（土壌）に板があった。



写真10 ソイルを取り出した。繊維を固めたもの

## 地獎住建株実験圃場への竹炭配合



写真 11 種の袋 (3種類入っている模様)



写真 12 ソイルをセットして給水



写真 13 ソイル表面をほぐしてから種蒔き



写真 15 カバーを外して4区画を決定



写真 16 1区画の15cm厚さを取り出して配合し、元に戻す作業の繰り返し



## 地獎住建株実験圃場への竹炭配合



写真 17 竹炭を軽量する鹿嶋さん



写真 18 吉田社長も作業に参加、飲み水補給



写真 19 竹炭を所定量配合して元の位置に戻す。



写真 20 レベル3の区域完了でソイルを固める。



写真 21 レベル1の配合終了



写真 22 配合はすべて完了



## 地獎住建株実験圃場への竹炭配合



写真 23 左手前は対照区で竹炭配合なし



写真 24 化繊で編んだ布でカバーし、釘で固定



写真 25 実験圃場の隣に野菜栽培セットを設置比較

A: 0%	対照区	0杯: 0ℓ
B: 500g/m <sup>2</sup> (2.5ℓ)		2.5杯: 2ℓ
C: 1000g/m <sup>2</sup> (5ℓ)		5杯: 4ℓ
D: 2000g/m <sup>2</sup> (10ℓ)		10杯: 8ℓ

合計: 17.5ℓ → 20ℓ 用意

残った竹炭を分析用に保管しておく。

(注) 体積は比重 0.2 と想定して換算 (実測値は 0.3kg/0.8ℓ ≒ 0.38)

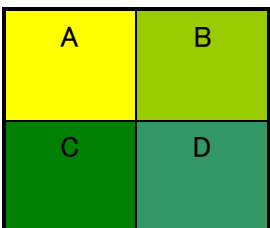


図 1 区画表示

<以上>